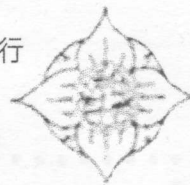


# 船田小だより

令和3年6月30日発行

No. 4

八王子市立船田小学校



「思いやりとは、

自分に向かいがちな目を相手に向け、相手の立場になって考えること」

校長 平田 英一郎

「人は一人では生きていけない。」とよく言われています。「友達と仲良く過ごそう」とも指導しています。学校は安全安心な居場所であるとともに友達とのかかわりの中で社会性を身に付ける場所です。だから勉強だけを教えてくれる塾や、オンラインの学習だけでなく、学校というコミュニティが必要なのだと、このコロナ禍の中実感しました。そして移動教室で一層明確になりました。



## <5年生 清水移動教室>

- ・時間を見て声を掛け合うことができました。

朝5時に起きて魚市場の見学に行ったのですが、眠い目をこすりながらも時間を守って行動することができました。一人ではできないことがみんなとならできました。

- ・初めてお家の人と別のところで泊まった人も多かったですね。

布団を自分でたたんだのも初めて、お家の人以外とお泊まりしたのも初めて、そんな人も多くいたと思います。自分のことは自分で行き、お友だちに迷惑をかけない。そんな行動を心がけることができました。

## <6年生 日光移動教室>

- ・2日目の刈り込み湖へのハイキングに行くとき、励まし、気持ちを盛り上げてくれるお友だちがいました。本当に辛いときに声をかけてくれる。そして、さらに大変になったら荷物を持ってくれる。そんな、思いやりの場面をたくさん見ることができ校長として嬉しかったです。

- ・もしなにか、困った場面「どうしよう」と悩んだときに、正しいことを言ってくれるお友だちがいて、正しい方向に導いてくれる。さすが船田小の6年生だなと感心するとともに、頼もしく思いました。

これからも、そして、卒業してからもそんなお友だちは大切にして欲しいなあと思います。

## <思いやり>

思いやりとは、表題の通り、自分に向かいがちな目を相手に向け、相手の立場になって考えることだと思います。人を思いやることは、人間関係を円満にするだけではありません。自分本位・自分勝手な心を抑えること、その訓練にもつながります。

移動教室では仲間を思いやって行動しなければうまくいきません。またお互い思いやうまくいった経験を重ね、船田小の皆さんには思いやりのある人になって欲しいと思います。そして、船田小の皆さんならきっとできると思っています。「やればできる！」です。正しく行動していきましょう。

